

URBAN KUBOTA

アーバンクボタNo.17 JULY 1979 株式会社クボタ

●目次

特集＝信濃川と新潟平野

1. 新潟平野をめぐる地形と地質

①基盤 茅原一也	2
②山地と丘陵をめぐる地形 高野武男	6
③信濃川の河岸段丘 新潟平野団体研究グループ	8
④平野の地下 新潟珪藻グループ	10
⑤砂丘と平野 新潟古砂丘グループ	12

2. 信濃川・阿賀野川流域の先史文化 小林達雄

16

3. 座談会・新潟平野の形成とその災害をめぐる

22

①新潟平野の地形的特徴とその形成過程

歌代勤・高野武男・長谷川正・長谷川康雄

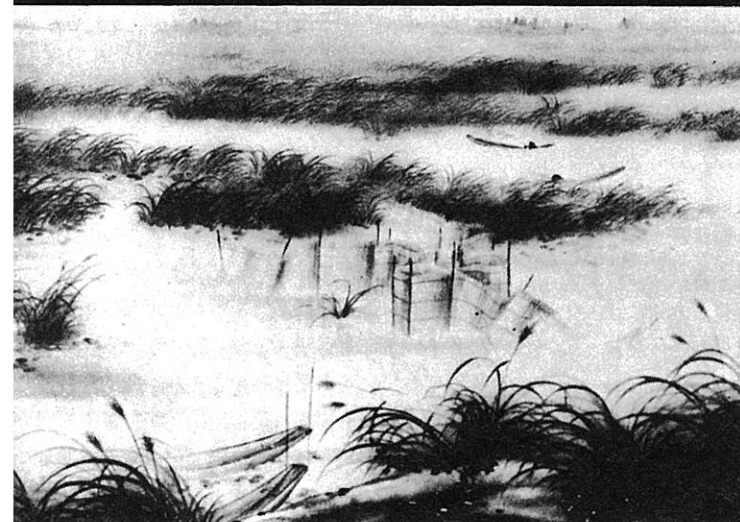
②地震とその災害 茅原一也

③新潟平野の地盤沈下 青木滋

④新潟堆積盆地——その背景と発達史 藤田至則

4. 信濃川治水の歴史 大熊孝

44



上＝明治38年に描かれた白根郷北部。当時の新潟平野には、いたるところに図のような芦沼がひろがっていた。（白根郷普通水利組合発行《白根郷治水史》扉絵より。昭和20年刊）

中＝明治29年、信濃川・阿賀野川の大洪水により新潟平野全域が大被害を被った。当時、大河津分水は未完で、信濃川本流は現在の大河津分水分派点より約4km下流の横田で、7月22日大破堤した。これが《横田切れ》で、この破堤により、両蒲原一帯の約2万町歩が水没、湛水期間は、おそらく4～5カ月間に及んだものと思われる。この広域のはんらんにも拘らず、はんらん水の出口にあたる新潟市街地は7月24日に再び浸水した。この悲惨な光景は、当時の著名画家6人によって記録され、信濃川洪水図12点が残された。図はその1点で川端玉章(1824年～1913年)の作品。新潟県美術博物館蔵。

下＝穀倉地帯に変貌した新潟平野。写真・ボンカラーフォトエイジェンシー提供。

発行所＝株式会社クボタ

大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号 TEL<06> 648-2612

発行＝株式会社クボタ広告宣伝部

発行日＝1979年7月

第4刷＝1997年6月

編集製作＝(有)アーバンクボタ編集室

印刷＝大日本印刷株式会社大阪工場

主要図版作製＝巧凡社